



晩秋莖上ニ芽ヲ出シ葉ヲ發生セル

だいこん (*Raphanus sativus* L. var. *macropodus* MAKINO.)

var. *ascendens* トスベキヲ *P. subhirtella* トシテ以下ヲ略シテ置イタモノ  
 カ此點ニ Arnold 樹木園ノ同氏ニ聽イテ見ナケレバナラヌ

## ◎大根ノ莖ハドンナモノカ

久 内 清 孝

普通大根ノ莖ト云フ處ハ根カラ葉ノ叢生シテ居ル數分ノ短キ部分ト思フ人ガアル然シコレハ決シテ誤ツタ考デハナイガ春夏花期ニ際セバ此ノ莖ノ部分ガ伸長シ次デ花莖ガ現ハレルト其部分ガ更ニ顯著ニナリ其マ、夏ヲ過ギ秋ニナルト此部分ハ一層著明トナリ更ニ此部カラ上ニ掲ゲタ寫真ノ通りニ偶マニ葉ヲ展開スルコトモアル此様ニナルト莖トシテ甚ダ著ルシクナル、此寫真ハ大正十四年十一月ニ武州大宮八幡附近デ藥學士藤田直市氏ガ撮影シタモノダ、だいこんノ逸出品ナルはまだいこんニモ時ニ同様ナ事ガ顯ハレル、又他ノ十字科植物デモ同ジク花後莖上ニ芽ヲ出シ葉ヲ展ゲルモノガアルやまがらし、つるたがらしガソレデアル又おらんだがらしモソナコトラスル、又はぼたんハ普通ノ時デモ莖ガ著シク伸長シ其頂ニ牡丹花ノヤウニ葉ヲ集メ展ゲテ誠ニ威風凜々タルモノデアル